

## 各球団の総合満足度スコア

### 1. 各球団の総合満足度スコア平均値と平均値に基づくランキング

#### 2016年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	72.59	16.32
2位	日本ハム	66.45	15.09
3位	ロッテ	63.51	16.54
4位	ヤクルト	63.05	14.74
5位	楽天	62.92	14.79
6位	広島	62.47	13.90
7位	西武	61.37	16.25
8位	阪神	60.03	16.24
9位	巨人	59.42	15.86
10位	オリックス	58.43	17.09
11位	横浜DeNA	57.99	15.31
12位	中日	48.44	17.12

#### 2015年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	広島	71.01	14.11
2位	日本ハム	69.97	14.54
3位	ソフトバンク	69.71	16.68
4位	オリックス	64.86	15.65
5位	阪神	62.06	16.21
6位	楽天	61.74	14.47
7位	ロッテ	58.37	16.08
8位	ヤクルト	57.61	15.07
9位	巨人	57.58	16.45
10位	西武	55.16	16.88
11位	横浜DeNA	53.73	16.22
12位	中日	50.55	16.21

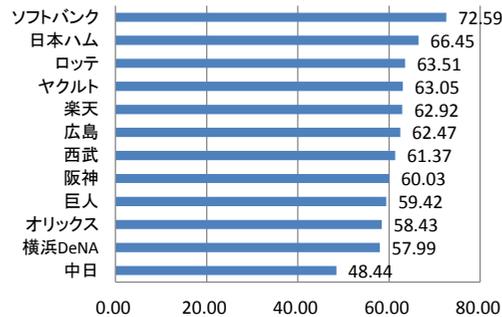
#### 2014年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	楽天	66.62	16.23
2位	ロッテ	65.57	14.11
3位	広島	65.20	14.91
4位	ソフトバンク	64.51	14.66
5位	巨人	63.47	14.13
6位	日本ハム	62.61	14.25
7位	西武	62.17	13.98
8位	阪神	58.53	17.20
9位	ヤクルト	55.06	14.52
10位	横浜DeNA	53.63	17.33
11位	中日	53.41	16.11
12位	オリックス	51.30	17.97

#### 2013年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	日本ハム	72.12	14.50
2位	ソフトバンク	68.33	15.50
3位	西武	63.66	12.60
4位	巨人	63.50	16.25
5位	ヤクルト	60.89	14.24
6位	ロッテ	59.09	15.46
7位	楽天	58.59	14.63
8位	広島	58.00	15.47
9位	中日	57.91	15.56
10位	阪神	52.67	16.38
11位	オリックス	50.42	16.89
12位	横浜DeNA	48.81	15.01

2015年1月下旬調査における各球団の総合満足度スコア平均値のグラフ



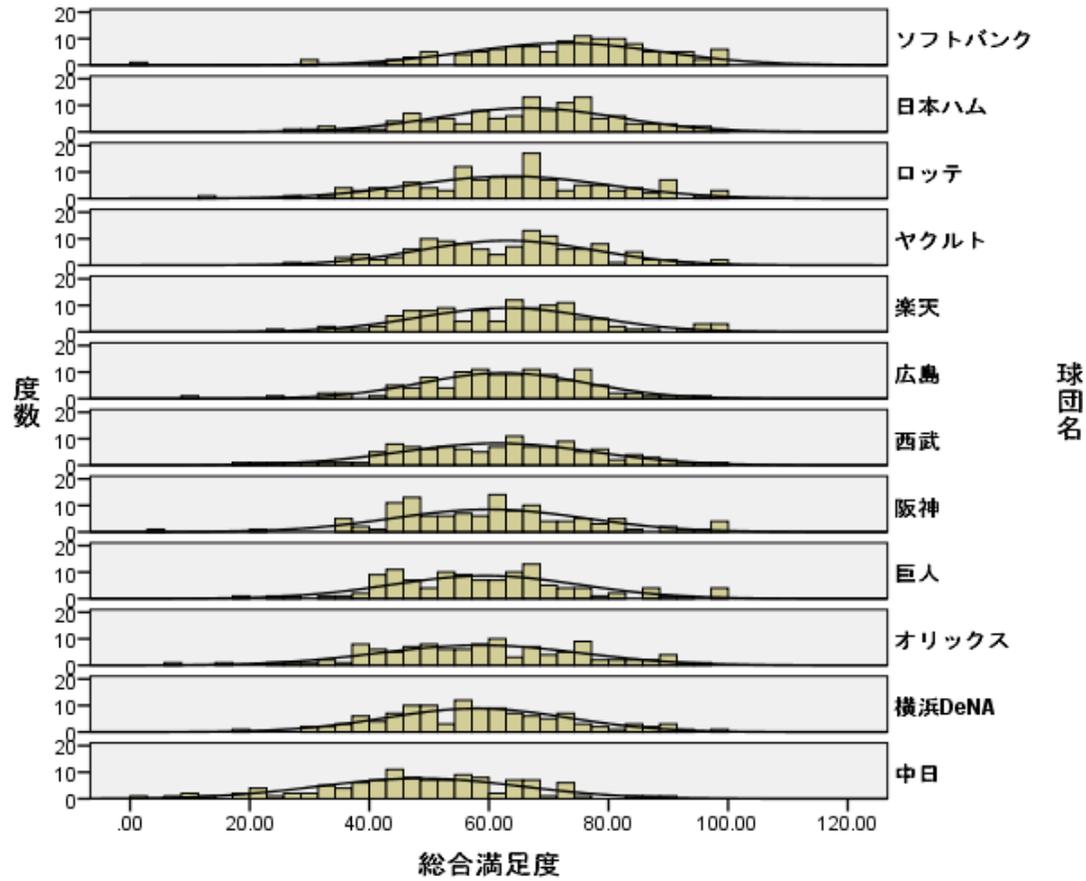
**2つの球団のスコア平均値の差の検定: 5.0%最小有意差(I.s.d)の目安**

$$I.s.d = 1.96 * \sqrt{2 * 15.0^2 / 120} = 3.80$$

ただし、スコアが正規分布に従い、各球団からのサンプリングが独立で、それぞれのサンプル数はn=120、標準偏差はσ=15.0とした場合の値である。

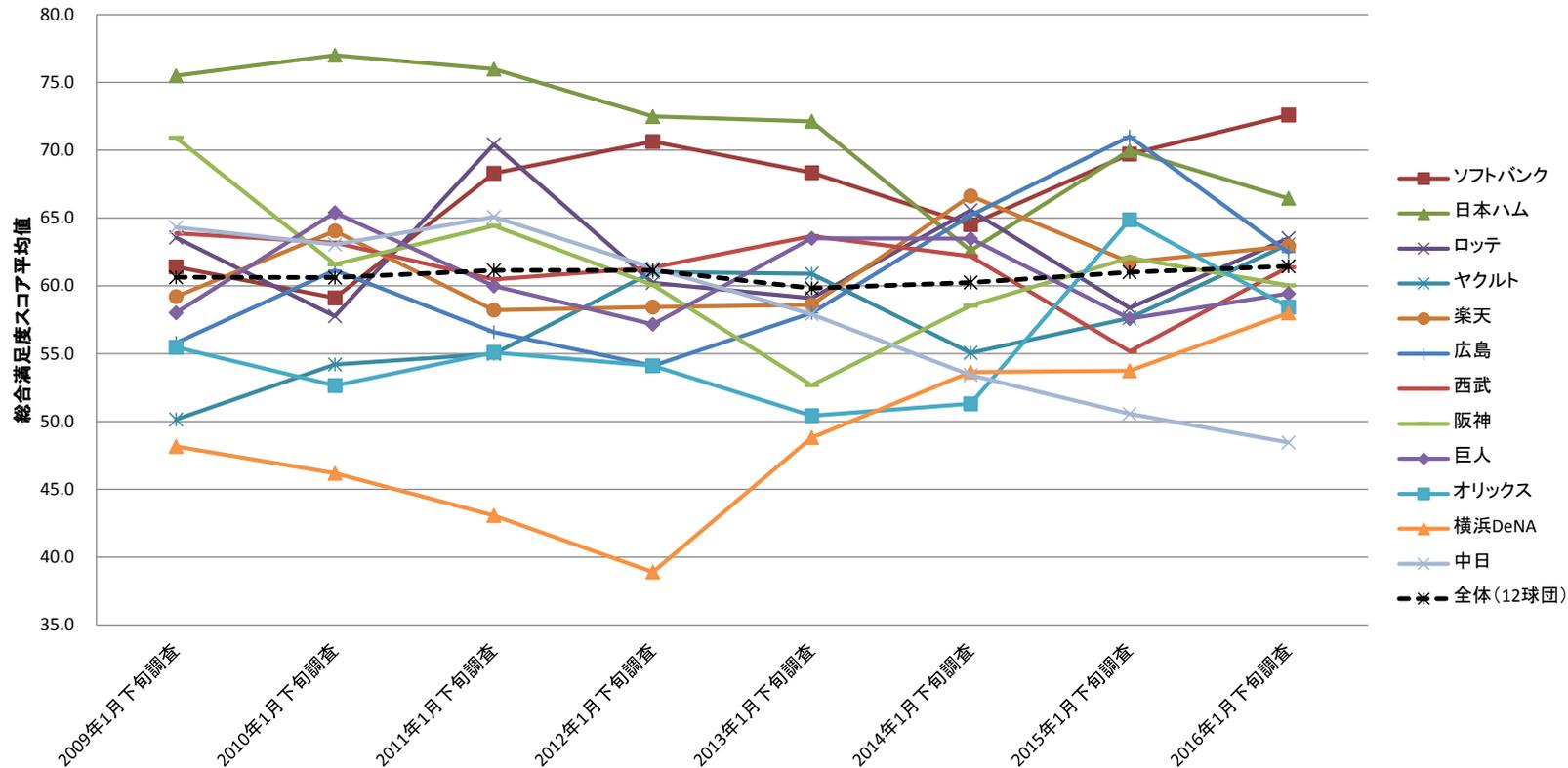
- 総合満足度スコアは、共分散構造分析モデルから求まる「総合満足度の潜在変数スコア」を標準化したものである。
- 具体的には、「総合的な満足度」と「総合的に見た場合の理想への近さ」の2項目の評価に重きを置き、さらに「チーム成績」「チーム選手」「球場」「ファンサービス・地域貢献」「ユニホーム・ロゴ」等の項目の総合満足度への影響度を考慮しながら、各項目の評価の加重平均として算出している。
- これらの項目のウェイト(因子スコア・ウェイト)は、共分散構造分析モデルにもとづき求めている。

2. 各球団の総合満足度スコアの分布 (2016年1月下旬調査)



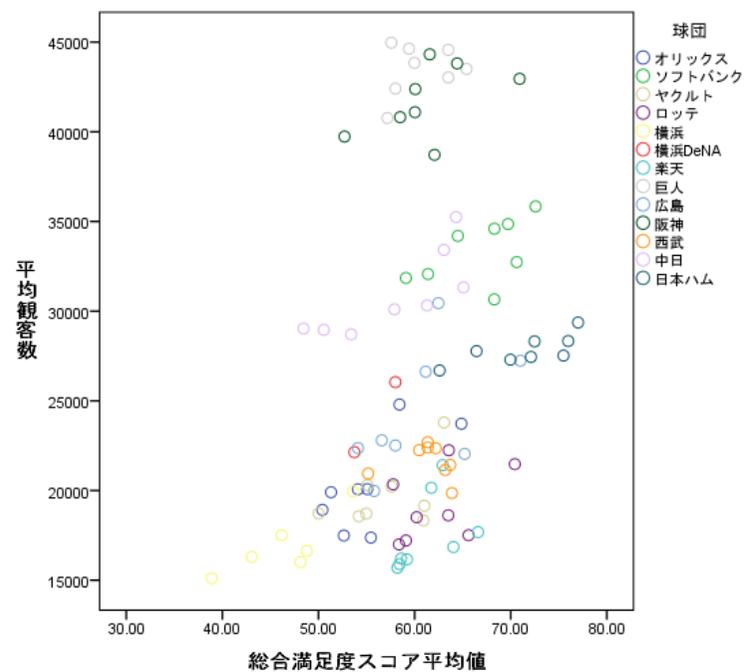
●各球団の総合満足度スコアの分布は、おおむね対称な正規分布に近い形状をしている。  
●各球団の評価については、ソフトバンク、日本ハム、ロッテの順で高評価である。

### 3. 各球団の総合満足度スコア平均値の経年変化



**■ソフトバンク:** 調査開始以来、8年目で初の総合満足度1位(72.6)となった。チーム成績、チーム・選手が非常に高い評価となり、もともとファンサービス・地域貢献の基盤ができていた球団としても定評があったことから、総合満足度に関して、他のチームを圧倒する高い評価となった。柳田、今宮、松田など、華のある人気選手もいて、総合的にバランスのとれたチームである。  
**■日本ハム:** 調査開始以来、5年連続度で1位であったが、2014年1月下旬調査は6位(62.6)であった。しかし、その後、回復し、チーム成績が上位となり、大谷、中田翔の活躍もあり、2016年1月下旬調査では2位(66.45)となった。  
**■広島:** 2015年1月下旬調査では初の1位(71.0)となったが、2016年1月下旬調査では6位(62.9)と低下した。2015年シーズンは期待されていたほどチーム成績が上がらず、CSにも進出できなかった。2016年シーズンに向けて前田健太がMLに行くなど、チーム・選手の魅力度がやや低下した。2016年シーズンに向けた期待感も低下しており、昨年同時期の状況とは一変している。  
**■中日:** 2016年1月調査でも、総合満足度スコアの順位が12位(48.4)となってしまった。成績がBクラスと低迷し、チームの魅力度の評価も低下している。ファンサービスに対する評価も低い。

4. 総合満足度スコアと平均観客数の散布図  
(8年分の調査データと直近のシーズンの平均観客数を使用)



球団ごとの群が存在するが、おおむね、総合満足度スコアと平均観客数の間には正の相関がある。相関係数は $r=0.335$ (1%有意)となった。